

内水ハザードマップ

③一色地区

発行(作ったところ): 西尾市 上下水道部下水道整備課 TEL: 0563-65-2192 危機管理課 TEL: 0563-65-2137
発行年月(作った年と月): 令和4年3月



内水氾濫(降った雨が処理できず町にあふれる)の条件

- ◆対象区域は、下水道計画区域(主に市街化区域と市街化区域に流れ込む区域)です。
- ◆水につかることは、1000年に1回程度降るおそれのある雨(考えられる一番の雨の量)で仮に考えています。これは、1時間に147mm(10分間に31mm)にあたる雨です。
- ※雨の量は、「浸水想定(洪水、内水)の情報のための 想定最大降雨の 設定手法」(平成27年7月国土交通省)から決めています。
- ◆一級河川または二級河川の水があふれること(外水氾濫)は考えていません。
- ◆考えられる水につかる場所が実際とちがうことがあります。
- ◆色がついていない場所でも水があふれることがあります。

凡例

指定緊急避難場所(逃げる場所)
(指定避難所(生活をするところ))

- 大雨により水があふれたときに往つてできる
- 大雨により水があふれたときに往つてできなくなるかもしれない

浸水実績
平成1年より後に建物に水につかっていたところ

- 2m ~
- 1m ~ 2m
- 50cm ~ 1m
- 20cm ~ 50cm
- ~ 20cm

その他の施設

- 指定避難所
- 学校
- 市役所・支所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署
- 救急病院
- 幼稚園・保育園
- 熱池駐在所
- 福地南部小学校
- 福地中学校
- 福地南部保育園
- 一色西部小学校
- 一色高等学校
- 赤羽駐在所
- 一色西部保育園
- 高須病院
- 一色中部小学校
- 一色中部保育園
- 消防署一色分署
- 一色幹部交番
- 一色南部小学校
- 一色南部保育園
- 子育て・多世代交流プラザ
- 市役所一色支所
- 一色保育園
- 一色町公民館・一色地域交流センター
- 一色学ひの館
- 一色東部小学校
- 一色東部保育園
- はずみやこ幼稚園
- 一色中学校
- 一色町体育館

建物に水につかるかもしれないときの一番の深さ

- 2m ~
- 1m ~ 2m
- 50cm ~ 1m
- 20cm ~ 50cm
- ~ 20cm

市界
市界

鉄道
鉄道

緊急輸送道路(災害の時に使う大きな道路)
緊急輸送道路(災害の時に使う大きな道路)

小学校区域
小学校区域

浸水想定対象区域(解析範囲)
(川の水があふれて家が水につかるかもしれないところ)

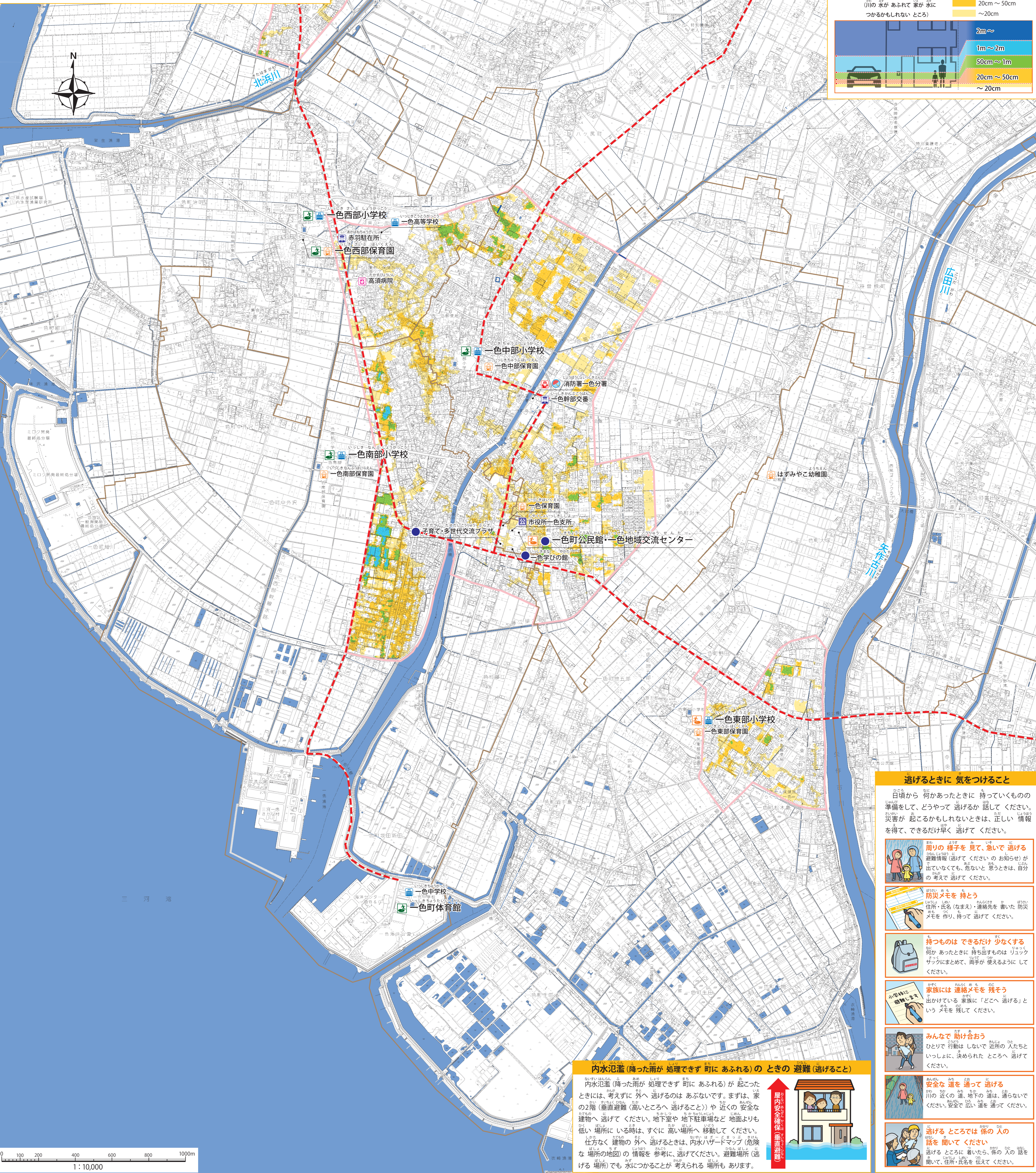
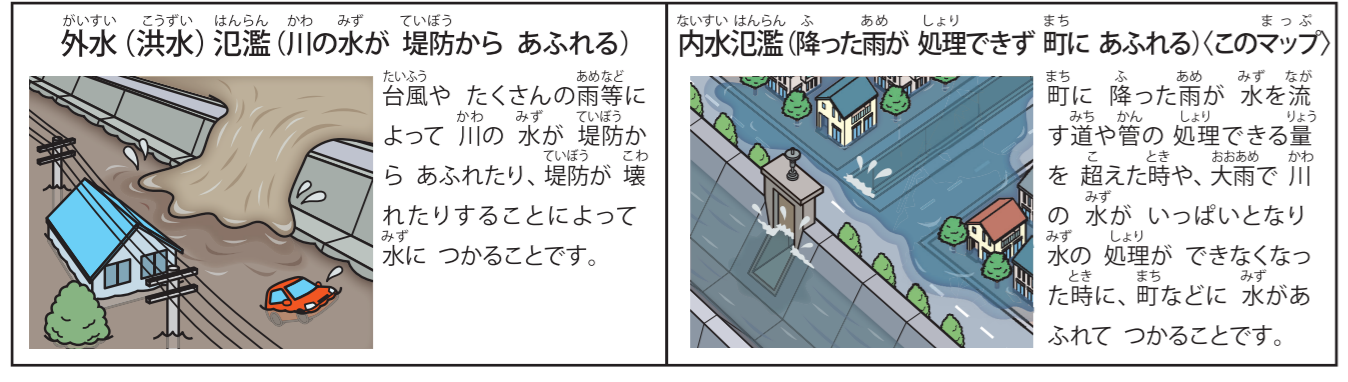
水位観測所
水位観測所(水の高さを測るところ)

アンダーパス・地下道
アンダーパス・地下道

このマップについて

水があふれる被害は、その原因によって二種類に分けられます。ひとつは、堤防が壊れるなど川の水が原因で発生する外水(洪水)氾濫(川の水が堤防からあふれる)による被害です。もうひとつは、川へ流れる水路に処理できる量より多量雨が降ったり、水を流す先の川の水がいっぱいのために水を流すことができなかったりして、水路からあふれることによる内水氾濫(降った雨が処理できず町にあふれる)による被害です。

このマップは、あとのほうの「内水氾濫による水があふれる被害」を仮に考えたマップです。考えられる一番多い雨(1000年に1回程度)を仮に考えたもので、コンピューターによって求められた水につかる場所とその深さをあらわしたのになります。



逃げるときに気をつけること

- 日頃から何かあったときに持っていくものの準備をして、どうやって逃げるか話してください。災害が起きるかもしれないときは、正しい情報を得て、できるだけ早く逃げてください。
- 周りの様子を見て、急いで逃げる**
避難情報(逃げてくださいのお知らせ)が出なくても、危ないと思ったら、自分の考えで逃げてください。
- 防災メモを持とう**
住所・氏名(なまえ)・連絡先を書いた防災メモを作り、持って逃げてください。
- 持つものはできるだけ少なくする**
何かあったときに持ち出すものはリュックやバッグにまとめて、両手が使えるようにしてください。
- 家族には連絡メモを残そう**
出かけている家族に「どこへ逃げる」というメモを残してください。
- みんなで助け合おう**
ひとりで行動しないで近所の人たちといっしょに、決められたところへ逃げてください。
- 安全な道を通って逃げる**
川の堤防の下の道は、通らないでください。安全で広い道を通ってください。
- 逃げるところでは係の人の話を聞いてください**
逃げるところに着いたら、係の人の話を聞いて、住所・氏名を伝えてください。

内水氾濫(降った雨が処理できず町にあふれる)のときの避難(逃げること)

内水氾濫(降った雨が処理できず町にあふれる)が起きたときには、考えずに外へ逃げるのはあぶないです。まずは、家の2階(垂直避難(高いところへ逃げる))や近くの安全な建物へ逃げて下さい。地下室や地下駐車場など地面よりも低い場所にいる時は、すぐに高い場所へ移動してください。

仕方なく建物の外へ逃げる時は、内水ハザードマップ(危険な場所の地図)の情報を参考に、逃げて下さい。避難場所(逃げる場所)でも水につかることが考えられる場所もあります。

↑屋内安全確保(垂直避難)